



年 組 名前

## 道新 ワークシート

ぶんちゃん<sup>と</sup>179の空

## 温泉と酪農のまち

地獄谷<sup>じごくだに</sup>で有名な登別温泉<sup>のぼりべつおんせん</sup>がある登別市<sup>のぼりべつ</sup>。毎年夏<sup>まいとしなつ</sup>に行われる「地獄まつり<sup>じごくまつり</sup>」は、年に一度<sup>ねんいちど</sup>、地獄谷の釜<sup>かま</sup>のふたが開き<sup>ひら</sup>、閻魔大王<sup>えんまだいおう</sup>と鬼たち<sup>おに</sup>が現れるという伝説<sup>でんせつ</sup>をもとにした祭り<sup>まつり</sup>です。登別<sup>のぼりべつ</sup>は夏涼しく<sup>すずか</sup>冬は比較的温暖<sup>ひかくてきおんだん</sup>で雪も少ない地域<sup>ゆきすく</sup>で、酪農<sup>ちようのう</sup>が盛んです。潮風<sup>しほかぜ</sup>を受けたミネラル<sup>ちいさ</sup>豊富な牧草<sup>らくのう</sup>を食べて<sup>さか</sup>育つ牛<sup>ほくそう</sup>の生乳<sup>た</sup>は、道内<sup>ほろふ</sup>でもトップクラス<sup>ほくそう</sup>の品質<sup>そだ</sup>。温泉<sup>うし</sup>につかった後<sup>せいゆう</sup>、新鮮<sup>あとしんせん</sup>な乳製品<sup>にゅうせいひん</sup>を味わ<sup>あじ</sup>ってみてはいかがでしょう。(も)



2021年2月9日(水) 夕刊 地方 函館・渡島・桧山 9ページ

ぶんちゃん<sup>と</sup>179の空

## 温泉パワーで冬も快適に

緑豊<sup>みどりゆた</sup>かな自然<sup>しぜん</sup>と「ながぬま温泉<sup>おん</sup>」がある空知管内<sup>そらちかんないながぬまちょう</sup>長沼町<sup>のう</sup>。農業<sup>のう</sup>が盛んで<sup>ぎよう</sup>、夏にはきれいな田園<sup>なつ</sup>風景<sup>でん</sup>が広がります。冬は日本海<sup>えんふうけい</sup>からの雪雲<sup>ひる</sup>が入りやすく、雪の多い地域<sup>ふゆ</sup>でもあります。長沼町<sup>にほんかい</sup>では、道内屈指<sup>ゆきくも</sup>の湧出量<sup>はい</sup>を誇るながぬま温泉<sup>おお</sup>の排湯熱<sup>ちいき</sup>を使った融雪溝<sup>どうないくっし</sup>を整備<sup>ゆうしゆつりよう</sup>し、除雪<sup>せいび</sup>に活用<sup>じよせつ</sup>しています。以前より冬道<sup>かつよう</sup>が広くなり見通し<sup>いぜん</sup>が良くなるなど、温泉<sup>ふゆみち</sup>の力が冬の快適な生活<sup>みとお</sup>に一役<sup>よ</sup>買っているのです。(肇)



2021年2月10日(木) 夕刊 地方 函館・渡島・桧山 9ページ

登別市と長沼町は、どちらも北海道にあるまちです。同じところやちがうところを記事の中から見つけて、下の問題に答えましょう。

①登別市と長沼町、どちらにもあるものはなんですか。

登別市：

長沼町：

③登別市と長沼町、雪の量(りょう)は多いですか、少ないですか。

登別市：

長沼町：